




## 旧片上鉄道吉ヶ原駅駅舎



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうかたかみてつどうきちがはらえきえきしや
所在地	美咲町吉ヶ原
指定年月日	平成18年3月2日
解説	<p>片上鉄道は、柵原鉱山から産出された硫化鉄鉱を輸送するため、大正8年(1919)に設立された。備前矢田ー柵原間に設けられた吉ヶ原駅には、運転支区が置かれていたため、乗務員の宿舎や木造の車庫もあった。駅舎は、桁行9間、梁間2間半の東西棟で、鉄板葺切妻造の木造平屋建。西待合室部に急傾斜の切妻屋根を架け、プラットホーム側に下家庇が添う。開業当時そのままの洋風駅舎は、保存も良く、現在は鉱山資料館の一部として公開されている。</p>
アクセス方法	津山駅より中鉄バスで約40分 吉ヶ原停留所下車すぐ、片上・和気より備前バスで約60分 吉ヶ原停留所下車すぐ
公開状況	開館：9:00～17:00、無料、休館：毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)12月28日～1月4日 問合せ先：0868-62-7155(柵原ふれあい鉱山公園)
設備	<p>トイレ  駐車場    障害者用駐車場</p>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧片上鉄道吉ヶ原駅駅舎
よみかた	きゅうかたかみてつどうきちがはらえきえきしや
しよざいち (所在地)	美咲町吉ヶ原
していつひ (指定した日)	平成18年3月2日
せつめい	昭和(しょうわ)6(1931)年(ねん)に建(た)てられた三角屋根(さんかくやね)の洋館風駅舎(ようかんふうえきしや)です。以前(いぜん)は、柵原鉱山(やなはらこうざん)から備前(びぜん)の片上港(かたかみこう)まで鉱石(こうせき)を運(はこ)ぶための片上鉄道(かたかみてつどう)が通(と)っていました。現在(げんざい)は柵原ふれあい鉱山公園内(こうざんこうえんない)の鉄道資料館(てつどうしりょうかん)として活用(かつよう)されています。一ヶ月(いっかげつ)に一度(いちど)、かつての列車(れっしゃ)を走(はし)らせていて、乗車(じょうじゃ)することができます。